

『今日は、第46号の訂正をしなくてはいけないんじゃ。江戸時代、東円寺の版木を刷ったものが富士山ミュージアムに展示してあると紹介してしまったんじやが、保管されているという誤りじゃ。申し訳ないのう。さて、この刷った絵図が富士山ミュージアムに保管されていることを知り、わしらに教えてくださった方がいるんじやよ。紙面が多くないからのう、紹介できずに終わらせてしまったんじやが、少し紹介しようかのう。忍野八海について、熱心に調べている方がおってな、版木があるのなら、刷ったものがあるのではないかと思い探していたというんじや。富士山ミュージアムに刷ったものがあると聞き、学芸員に頼んで見せてもらい、個人の利用のみということでコピーをいただいてきたんじや。』

『熱心な方がいると、お宝を発見できて、ありがたいことでもっすん。』

『そうなんじやよ。この絵図は、もとは富士吉田の御師、小猿屋にあったそうじや。後に北口浅間神社に寄贈され、現在は、富士吉田歴史民俗博物館に寄託されたそうじや。絵図だけでも、様々な人の手に渡って現在があることを思うと、感慨深いのう・・・』

『様々なドラマがあるでまっすん。絵図について詳細が分かって良かったでまっすん。今日は、縁日の話でまっすん。聞いたことはあるけれど、改めて考えて見ると説明するとなると難しいでまっすん。講左衛門さん教えてほしいでまっすん。』

『縁日とは、神仏との有縁(うえん)の日のことを言うんじや。神仏の降誕・示現・誓願などの縁(ゆかり)のある日があるんじやが、祭祀や供養が行われる日なんじやよ。この日に神社仏閣を参詣すると、普段以上の御利益があるといわれておるんじやよ。特に、年の最初(または月の最初)の縁日を初〇〇(初薬師、初観音、初地蔵、初不動、また、干支を縁日とする場合は初午、初巳など)が有名なんじやよ。簡単に言うと仏様と縁を結ぶ日ということじゃな。今日は、不動明王の縁日なんじやが、クニマッスンは、お薬師さんや観音様、地蔵尊の縁日を知っておるか?』

『お薬師様は8日、観音様は18日、お地蔵様は24日が縁日でまっすん。ということは、この日に参詣すると、普段以上の御利益があるでまっすん?縁日を知っていたら、この日にお参りできるでまっすん。ありがたいことでもっすん。』

『そうなんじやよ。しかし、縁日を知ることは大切なことじゃが、様々な仏様の特徴や御利益につ

いて聞く機会は少ないだろうから、次回は、仏様について話をしようと思っておるぞ。』

『楽しみでまっすん。』



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん..

ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定